

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2022年11月 NO.7











在籍校担任の先生が「聞こえ」について配慮してくださっていること

在籍校担任の先生方には、後期の在籍校訪問および難聴理解授業の実施に協力していただき、ありがとうございました。これから訪問させていただく先生方もよろしくお願いたします。

在籍校訪問では、通級生にとって伝わりやすい話し方や環境整備について情報提供させていただいておりますが、通級生のより学びやすい環境作りのため、御理解の程よろしくお願いたします。

今回は、在籍校訪問の時に私たちが見つけた「在籍校の配慮」の素晴らしいところを紹介させていただきます。

場面	事例
(1)「今何をすべきか？」を視覚的にわかりやすく伝えるための板書の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 板書した内容に「➡マーク」をつけて①「学習内容」(〇〇)を示し、やることリストに「□マーク」をつけて②「活動内容」(〇〇する)を示して、「今何をすべきか？」を見える化する。 (例 <板書> 「場面3 テーマ『赤鬼はなぜ泣いたのか?』」 + <やることリスト> ↓ 見る 聞く 読む 考える 書く 話し合う 発表する =<u>指示</u>>「赤鬼はなぜ泣いたのか?」を考えよう。) 
(2)話が伝わっているかどうかの確認	<ul style="list-style-type: none"> 通級生本人への声掛けは多くないが、クラス全体に、話が伝わっているかの確認をこまめに行っている。 (「今の聞こえた?」「聞こえた人もう1回言って!」「みんなでもう1回言って!」と自然に声を掛けて確認していました。) 
(3)クラスの仲間の発言内容をわかりやすく伝える	<ul style="list-style-type: none"> ロジャーを使っていない子どもたちの発言内容を、①復唱したり、②わかりやすい言葉で言い換えたりすることで、わかりやすく伝えている。 (新型コロナ対応のために、物の手渡しが禁止されているために子どもたちがロジャーをバトンのように手渡して使うことができない学校もあります。) つぶやきをひろいながら授業を進める際には、子どもたちの発言内容を、要点だけ板書している。または、先生の「復唱」や「言い換え」を増やしている。 (「挙手→指名→立って発表」のような従来型の発表形式なら、通級生も話し始めに注目しやすいのですが、挙手なしであちこちで急に話し始めると、話し始めを聞き逃してしまい、結果、話の内容が全部わからなくなってしまうことがあります。)  
(4)ロジャーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ロジャー(タッチスクリーンマイク)の首ひもを短くして、声が確実に届くように配慮している。 (首ひもが長いままでも、声はだいたい入りますが、少し横を向いて話すと声が入らなくなってしまう。) ミュートボタンをよく活用している。 (休み時間に、ロジャーを首にかけたままミュートを使わずに職員室に戻ると、先生方の会話が教室の通級生に全部聞こえてしまうことがあります。トイレの音も…同様です。)  

	<p>・グループモードを活用している。</p> <p>(話し合い活動は、周りのグループの声が響いてしまい、一人ずつの発表に比べ、かなり聞き取りづらい環境となります。ロジャーを首からはずして、グループの真ん中に横置きすることで、自分のグループの声だけを聞きやすくなります。)</p>	
(5)教科担任制への対応 (小学校)	<p>・担任以外の先生もロジャーを活用し、わかりやすい話し方を意識している。</p> <p>(教科担任制の導入が進むにつれ、担任以外の先生が授業を受け持つ教科が増えています。通級担当がお伝えした情報を担任の先生が活用していただくだけでなく、他の先生方にも伝えていただくことが、ますます大事になっていきます。)</p>	

おまけコーナー



手話に関心を持つ人、学びたい人が増えています

この頃、ドラマ「サイレント」や映画「コーダ あいのうた」がヒットし、手話に興味を持って学ぼうとする人が増えているそうです。そこで、手話を学ぶ方法を少し紹介させていただきます。

①テレビ番組

- ・「みんなの手話」…日常生活でよく使う手話表現を楽しく学ぶ25分の番組。初心者向け。
テキストを購入して視聴するのがおすすめ。半年で1つの講座が完了。
Eテレ 日曜日 午後7:30~7:55
- ・「NHK手話ニュース845」…毎日のニュースを手話で伝える15分間の番組。
Eテレ 月~金曜日 午後8:45~9:00
- ・「こども手話ウィークリー」…子供向けでわかりやすい10分間のニュース番組
Eテレ 日曜日 午後5:50~6:00

②インターネット

- ・「NHK手話CG」…調べたい手話単語を辞書のように検索できる。アニメーションで手の形や動きを確認できる。(角度を変えて見たり、スロー再生で見るとも可能。)まだ完成形ではなく、載っていない言葉もあるが、手話単語の数が少しずつ増えている。
URL <https://www2.nhk.or.jp/signlanguage/index>
- ・「手話シャワー」…日常生活で使う手話単語を繰り返し繰り返しまねをして練習する。超初心者向け。
テレビ放送は終了したが、NHKホームページの中の「NHK福祉情報サイト ハートネット」で視聴可能。

③本

- ・伝わる!つながる!親子の手話事典 [ごま書房新社] 1,800円+税
…簡単でわかりやすい初心者向け。基本的な単語を覚えたい人に。
- ・わたしたちの手話学習辞典(1)改訂版 [全日本聾唖連盟] 2,860円(税込)
…語彙数が多く、中・上級者向け。知らない手話単語を調べるのに便利です。
※たくさん本がありますので、自分に合うものを見つけてください。

④その他

- ・手話講習会に参加したり、手話サークルに入会したりして、実践的に学ぶ方法もあります。